

中部横断自動車道(富沢 IC～南部 IC)間の 開通日時発表について知事コメント

令和元年9月27日

- 中部横断自動車道は、新東名高速道路と中央自動車道、上信越自動車道を結び、太平洋と日本海を連絡する新たな物流の大動脈となる重要な高速道路であり、早期全線開通を事業者である国土交通省に求めています。
- 中部横断自動車道の一部区間開通などインフラ整備による利便性の向上から、沿線地域では新たな企業立地が進むなど需要の高まりが見られ、本年7月の地価調査では工業地価格の平均変動率が全国平均を上回るなど、ストック効果が発現しており静岡・山梨間の全線開通に向け、益々、期待が大きくなってまいります。
- この度、国から「富沢 IC～南部 IC」間の開通日時が発表され、地元の南部町の皆様をはじめ沿線の多くの方々と喜ぶとともに、開通効果を最大限発揮できるよう、引き続き、様々な施策を推進して参ります。
- 残る「南部 IC～下部温泉早川 IC」間の一日も早い開通と、山梨・長野間における「長坂～八千穂」の環境影響評価及び都市計画決定の手続きを確実に進め、早期事業化に向けて、あらゆる機会を捉え、国に対し力強く働きかけて参ります。

山梨県知事 長崎 幸太郎